

記載例：日本人間の婚姻(フランス方式)

婚姻届

窓口届出日、または投函日を記入

令和 8 年 4 月 4 日 届出

大使 殿

在マルセイユ日本国 総領事

- ❖ 鉛筆、シャープペンや消えやすいインクで書かないでください。
- ❖ 記載した文字等を訂正・加筆・削除するときは、修正液、修正テープ等は使用せず、誤字に二重線を引き、訂正削除して下さい。

第 号

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知
------	------	------	-----	-----	-----	-----

(※押印は任意)

生 年 月 日

印

印

月 日

住 所

フランス式で婚姻した場合、証人欄の記載は不要です。

本 籍

番地
番

番地
番

記入の注意

1. 届書はすべて日本語で書いてください。

2. 記入は、必ず日本語で、鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

3. フランスの住所には「=」「・」等記号は使用しないで下さい。

4. 本籍地には「-」は使わず、戸籍通りにご記入ください。

× 2-6
○ 2丁目3番地

5. 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけ書いてください。養父母についても同じように書いてください。

6. □には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。ただし、外国人と婚姻する場合にはつけないでください。外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

7. 届を出す日に同居を始める人は、その日に同居したものとしてその年月を書いてください。まだ同居を始めていない人は、その他の欄に「まだ同居を始めていない。」と書いてください。

8. 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。内縁のものはふくまれません。

9. 夫 □、妻 □ に当てはまると思うものに夫 ☑、妻 ☑ のようにしるしをつけてください。

10. 在留国の法律で婚姻したときは、婚姻した日から3か月以内に婚姻証明書をそえて出してください。この場合は証人欄は書かず、「その他」欄に婚姻成立年月日、婚姻の方式及び婚姻証書作成者の職名を記載してください。外国文の証明書には翻訳者を明らかにした訳文を添付してください。当事者の一方が外国人のときは、在留国の法律で婚姻してから出してください。この場合、外国人の国籍を証する書面(旅券写真等)を提出してください。

11. 未成年者が婚姻するときは、父母(養子のときは養親)の同意書を出すか、または父母がその他の欄に同意の旨を書いて署名(※押印は任意)してください。

12. 届出人や証人の署名は、はっきりとよめるようにそれぞれ本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名する場合は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。

13. 届書は2通出してください。

14. 戸籍謄本は原則不要ですが、本籍地において戸籍情報が電算化されていない方については、戸籍謄本の提出が必要となります。

15. 本欄に記入された事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

(1) 夫になる人	夫になる人	妻になる人
	ガイム イチロウ	スズキ ハナコ
(2) 住所	氏 名	氏 名
	外務 一郎	鈴木 花子
(3) 本籍	氏 名	氏 名
	外務 一郎	鈴木 花子
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	氏 名	氏 名
	外務 太郎	鈴木 次郎
(5) 同居を始めたとき	氏 名	氏 名
	外務 洋子	鈴木 明子
(6) 初婚・再婚の別	氏 名	氏 名
	外務 太郎	鈴木 次郎
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	氏 名	氏 名
	外務 洋子	鈴木 明子
(8) 夫婦の職業	氏 名	氏 名
	外務 太郎	鈴木 次郎

届出人署名(※押印は任意)	夫 外務 一郎	妻 鈴木 花子
事件簿番号	1, rue de Paris, 69000 Lyon	TEL. 06 78 90 00 00
(届出人の連絡先及び電話番号)	Email : gaimuichiro@todokede.com	フランス国内の現住所、日中ご連絡可能な電話番号、及びEメールを記入ください